

【今できること】

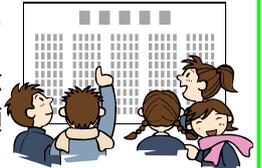
3月11日午後、卒業式を無事に終えホッとしていた矢先、大変なニュースが飛び込んできた。東北地方太平洋岸を襲った大地震と、大津波だ。連日報道される被害状況に、声も出ない。すでに8,600人以上の方が亡くなり、いまだ1万2,000人以上の行方不明者、約35万人もの避難者がおられる。人知の及ぶところではないほどの大規模自然災害に直面し、愛する家族や肉親を失った人々の心情を思うと、いたたまれない。被災された方々に対し、『自分に何かできることはないのだろうか。』と考えた人も多かったのではないだろうか。・・・そんな中、生徒会の皆さんが『義援金を集めて被災地に送ろう』と、募金活動を始めました。15日(火)から18日(金)までは、校門前で全校生徒に呼びかけ、11万6,836円を集めました。さらに21日(日)・22日(月)は、JR尼崎駅前に立ち、16万3,846円を集めました。早く募金に応じて下さった皆さん、ありがとうございました。被災地では、すでに復興に向けて人々が立ち上がっています。助け合い、支え合いながら不自由な避難生活に耐えて頑張っておられます。全国から自衛隊、警察、消防、医療関係者、電気・ガス・水道・情報通信の技術者など派遣された人々が、懸命に頑張っておられます。さらに、世界中の国々や地域から支援の申し出も受けました。外国の人たちも支援の募金活動を行ってくれています。感謝の気持ちで一杯です。私たちも、『今できること』は何かを考えながら、復興を支援し続けましょう。



皆さんの気持ちを代表して、生徒会のメンバーが募金活動を行ってくれたのだと思います。少しでも役に立ちたいという気持ちが嬉しいし、実際に行動できたことがもっと嬉しい。

【公立高校合格発表】

21日(月)に、公立高校の合格発表がありました。“入学者選抜検査”の結果、残念ながら全員合格とはなりませんでしたが、合格した人、合格=ゴールではありません。次のスタートラインにつくことができただけです。“これが絶対”ということはなく、“進路変更”も有りですが、個人的な経験から言うと、将来を見据えて進路を変更するというよりも、学習について行けない、規則・決まりを守ることができないので、進路変更をせざるを得ないという場合がほとんどでした。これからどのように頑張るのが大切です。さて、残念な結果に終わった人、今回多くのことを学びました。でも、精一杯頑張ってる人はまだ敗者ではありません。悔しい思いを力に変えて、もう一頑張りしましょう。人生まだ先は長い、挽回するチャンスはきっと訪れます。



【保護者の皆様へ】

『1年目に課題を把握し、解決の手だてを考え基礎固めをする。2年目には、前年の取り組みを修正しながら、実績を残す。そして3年目には、確かな成果を上げ、保護者・地域の信頼を得る。』という“甘い青写真”を描きながら着任して、もう2年が経ちました。自分の甘さ力不足を痛感しながらも教職員の頑張りに支えられ、保護者・地域の皆様の励ましに感謝しながら、何とかやってきました。今確かな手応えを感じています。次の1年、誇りに思える大成中の完成をめざし、頑張りたいと思います。1年間ありがとうございました。